



宮脇教授の **ひとくち** Economy & Finance

日本・世界の経済・財政

北海道大学法学研究科・公共政策大学院

「宮脇淳教授のニュースレター」

国と地方の財政・金融そして公共政策の面から研究。地域に足場を持ちながら今後の制度設計や地域経営のあり方等、国そして各地域の実践的課題に挑戦。

金融政策・引き締め政策

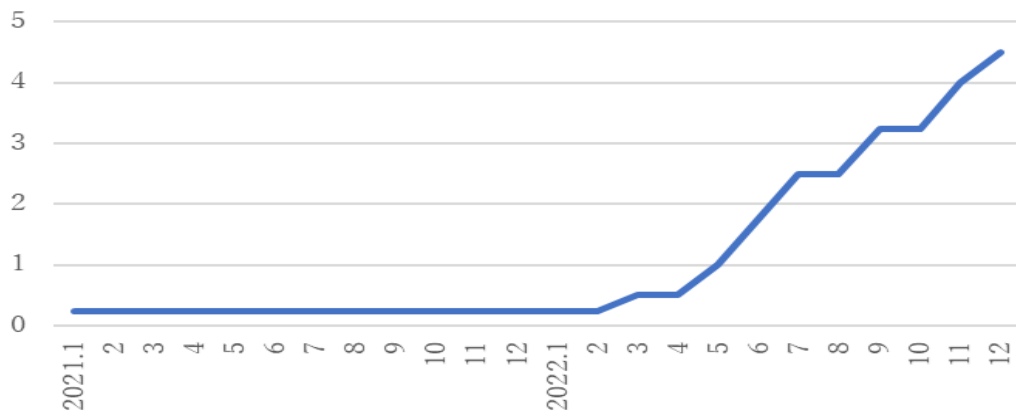
2022/12/26 第 882 号

朝日田コーポレーション

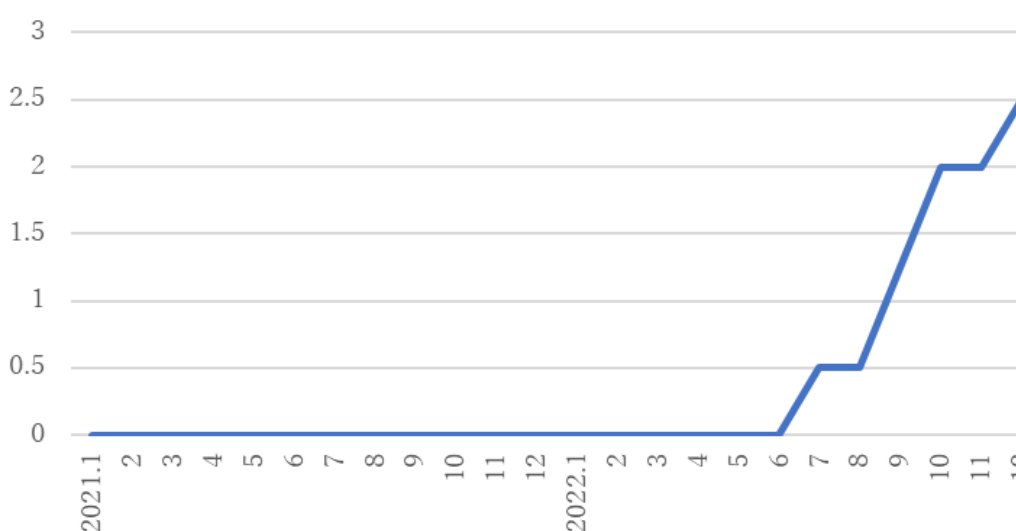
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp

●ホームページ: <http://www.sapporo-php.co.jp>

米国・政策金利(%)



ユーロ・政策金融(%)



12月FOMCでFRBはフェデラルファンドレート（FFレート）の誘導レートを0.50%ポイント引き上げ4.25～4.50%とした(上図)。前の会合まで4会合の連続で0.75%の利上げを実施してきたが、足元でインフレ率上昇に減速がみられることや、米国の景気後退懸念が高まるなかで、利上げのペースを落とす判断をしている。同時に発表された米国経済見通しでは、2023年に政策金利を5.0～5.25%まで引き上げた後、2024年と2025年に1%ずつ利下げする想定となっている。ユーロ圏でもインフレ抑制を景気減速よりも優先する姿勢を示しており、日銀も実質上の引き締め姿勢を示す等金融政策そして為替動向が大きな転換点を迎つつある。